

## アクトシティ浜松の大規模な修繕について

### 1 要旨

- ・築25年以上を経過したアクトシティ浜松は、老朽化に伴う様々な設備更新が必要となっており、今後も「音楽の都・浜松」における都市のシンボルとして質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供していくためには、安全・快適な施設機能維持のため大規模な修繕工事を実施する必要がある。
- ・工事の実施に際して施設を休館し、様々な工事を計画的に、効率よく実施することで工期の短縮を図り、市民への影響を最小限にとどめる。

### 2 背景・現状

- ・アクトシティ浜松は、平成6年10月に開館し、今年で28年目となる。
- ・これまで、毎年度修繕箇所の優先順位及び金額を精査した上で修繕を行ってきたが、近年、施設設備全般の老朽化等が目立つようになってきている。
- ・「音楽の都・浜松」のシンボルであり、浜松国際ピアノコンクールなど定期的に利用される大規模な催しも多く、高い稼働率を誇る本施設を休館する場合の市民への影響は非常に大きい。また、最長で3年前から予約が可能であるため、早い段階で周知が必要である。

### 3 今後必要となる修繕の主な内容

- ・建築工事（特定天井の改修）
- ・電気設備工事（照明設備、受変電設備、非常用発電設備の更新）
- ・空調設備工事（配管更新）
- ・給排水衛生設備工事（利用者用トイレ改修、配管更新）
- ・舞台設備工事（舞台床、吊物機構の更新）

### 4 スケジュール等

- ・令和7年度以降、ゾーンごとに順次休館し工事を行うことを想定している。
- ・特定天井の改修及び舞台機構の更新について、現在基本計画を策定中。
- ・修繕方針、工事スケジュール及び休館期間については、詳細が決まり次第、市民文教委員会に報告するとともに、利用者等に周知を行う。